みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院・津生協病院附属診療所 言語聴覚療法 作業療法・理学療法 部門







# 言語聴覚療法・作業療法・理学療法と リハビリテーション、何が違うの?

言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の3職種の技術は、理学診療科(Physical Medicine)、リハビリテーション科の疾患治療技術として歴史的に発展してきました。加えて、医学的リハビリテーションの考えを強く打ち出すことで、生活機能障害を改善する技術としても確立されてきました。そして、最近では疾患・障がいを予防する技術として注目されています。

言語聴覚療法・作業療法・理学療法は、リハビリテーションだけではなく、健康づくり、急性期医療、三次予防(介護保険分野含む)などの分野で、評価に基づいた治療・トレーニング・エクササイズを行い、津地域、みえ医療福祉生活協同組合員の「生活の質」の向上をめざす分野です。

# 津生協病院・津生協病院附属診療所 言語聴覚療法・作業療法・理学療法の概要



# 特徴 予防から在宅まで一貫した提供

3職種による疾患別グループ活動

多様な経験年数のスタッフ

## 予防、入院から在宅まで一貫した言語聴覚療法、作業療法、理学療法を提供します

脳梗塞、脳出血患者様への早期からのリハビリテーションをはじめ、軽・中症度疾患の方に対し

て、入院から在宅復帰まで一貫したフォローを行っています。そして、必要な場合は通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションにつなげていきます。また、地域での班会活動の講師を積極的に努め、地域の方の病気や障がいの予防のために活動を行っています。



【医療保険施設基準】地域包括ケア病床、急性期病床での ADL 維持向上加算(予定)、脳血管リハビリテーション I 、呼吸器リハビリテーション I 、運動器リハビリテーション I 【介護保険】訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション(1時間~6時間)

# 多職種による疾患別グループ活動を継続的に行っています

言語聴覚士、作業療法士、理学療法士が脳血管、運動器、呼吸器、摂食嚥下、予防、介護保険グループに分かれ、自主的に学習会、伝達講習会の開催、今後の医療・介護構想などを討議しています。



## 多様な経験年数、世代のスタッフ構成

様々な年齢、世代のスタッフが在籍し、各年代のロールモデルの実際を見ることができます。将来に渡るキャリアデザインの参考になります。



# 呼吸理学療法とリハビリテーション



#### 特徴

急性入院から在宅生活までフォロー

自宅生活しながら身体の機能を維持改善

専門家とともに生活の質の向上に努める

## 急性入院から在宅生活まで総合的な視点で病気と生活を援助



肺炎、慢性閉塞性肺疾患などの方たちに入院超早期から理学療法等や リハビリテーションが開始されます。肺の病気の治療と早期からの離 床を目指し、一日も早い在宅復帰を目指します。また、在宅復帰後 は、外来での身体エクササイズ、栄養管理などを行い、心身機能の維 持、改善を継続的にサポートします。さらに、自宅生活を支えるため に必要に応じて介護保険での通所リハビリテーション、訪問リハビリ

テーションも行いながら在宅生活を支えていきます。このように、入院から在宅までフォローするために専門職の情報共有を含め、総合的な連携を行っています。

# 外来での呼吸リハビリテーションを展開

外来での呼吸リハビリテーションを行っている数少ない施設です。自宅で生活を営みながら身体の機能維持に努めることができます。

# 多職種で呼吸リハビリテーションを実践

多職種(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)で呼吸器 グループを構成し、肺炎、慢性閉塞性肺疾患ガイドライン学習 会、吸引講習会などを開催。呼吸リハビリテーションの評価、 治療、エクササイズの質向上を目指しています。



# 整形外科と理学療法・リハビリテーション



### 特徴

生活を見据えた治療

障がい、病気の再発予防に貢献

医師との密接な連携

### 病気の治療とともに生活を見据えたリハビリテーションを行う

地域に密着した整形外科として疾患の治療とともに理学療法 士、作業療法士により、個別治療、エクササイズプログラムを 提供します。患者様の生活実態に合わせた自主トレーニング指 導も行います。また、病院でのリハビリテーション後の介護需 用に応えるために、当院の地域連携室などとも連携し、介護保 険でのリハビリテーションにつなげます。



### 障がい、病気の再発予防のために個別のプログラムを

## 指導

障がいは、病気から生じる痛み、関節の動きの悪さ、筋力の低下で起こります。それに伴い生活の制限、生活の質の低下が起こります。当院の理学療法士、作業療法士は、症状の緩和だけでなく、再発予防につながる体操指導や日常生活での注意点などの指導を実施しています。

# 医師との連携を重視しています

質の高い理学療法、作業療法やリハビリテーションを提供するために、整形外科医、主治医と連携を取りながら患者様にあった様々なプログラムを提供します。また、専門職同士の定期的な学習会などにより治療、エクササイズ技術の向上に努めています。



# 摂食嚥下リハビリテーション



### 特徴

画像評価から生活指導までの一貫体制

最後まで「食べる」にこだわる

最新機器による治療エクササイズを導入

#### 退院後も安全で、安心して暮らしていけるように

「食べる」ということは、生きていくうえで必要な栄養を取り込むという必要不可欠な行為です。病気になると今まで当たり前に行えていた「食べる」ということができなくなり、食物が肺に入ってしまう「誤嚥」という症状を起こします。当院では嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査などの画像診断、評価を実施し、詳細な評



価のもと言語聴覚士が中心となって摂食嚥下リハビリテーションを行います。また、管理栄養士による嚥下食の作り方の指導や、栄養サポートチームとの連携も行っており、退院後も安全で、安心して暮らしていけるような取り組みを行っています。

# 「おいしい!」の一言に勇気づけられて最後まで「食べる」にこだわる



「食べる」ということは生命維持だけでなく、味や季節、会話を楽しむという側面もあります。食べたいと願う患者様の「おいしい!」の一言に私たちも勇気づけられています。誤嚥を繰り返す方や胃瘻を作られた方でも

姿勢や食事形態を変更する、食べ方の指導をするなどして、最後まで食べる喜びを味わえるよう な嚥下リハを展開しています。

# 最新機器による治療エクササイズを導入しています

認知症や寝たきりの方、高齢の方でも摂食嚥下リハビリテーションが行えるよう 電気刺激機器によるエクササイズを始めています。医師の指導・指示のもと嚥下 リハビリテーションを受けていただき、少しでも機能が改善していけるよう努めています。



# 訪問リハビリテーション



#### 特徴

多職種連携で在宅生活を支える

病院などの施設との連携

個別性の重視

多職種連携(作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・医師・介護支援専門員・看護師等)で在宅を支えています

利用者の幅広い生活の障がいに応じて多くの職種がワンチームで対応します。訪問リハビリテーションを通じて、介護予防の自主トレーニングの指導、退院後の生活動線チェック、屋外歩行の評価・エクササイズを行います。また、家事動作の評価・助言、自宅の環境整備、介護者や家族への介護指導など行います。



### 病院施設などとの連携

当院の関連事業所に通所リハビリテーション、通所介護、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、往診が併設されており、相談、紹介などの連携を行っています。また、他事業所の医師などとのカンファレンスを行うことで利用者の情報共有を行うことで生活の質向上に努めています。

## 個別性の重視

生活機能の維持向上のために機能的なエクササイズ、生活環境の整備、動作指導、自主トレーニング指導、屋外散歩、買い物などの家事動作指導、ご家族や介護福祉士等への介護指導など多岐にわたります。利用者、ご家族が笑顔になれるよう「よりそい、つなぐ、ささえる」の実現を目指します。



# 通所リハビリテーション



#### 特徴

個人に合わせたプログラム

専門家によるエクササイズ

きめ細かな個別マネージメント

## 一人ひとりにあわせた通所リハビリテーションプログラム

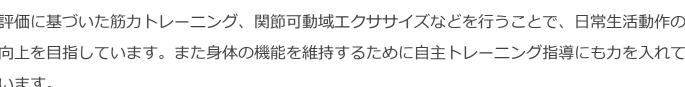
末永くご自宅で生活できるように、利用者様の目標達成に 向けて支援を行います。

医師、介護福祉士、理学療法士、利用者様などとのカンフ アレンスを充実させ、カンファレンスに基づいた個別プロ グラムを作成し、好評をいただいています。



利用者様の身体の機能、日常生活動作などの評価を行い、

評価に基づいた筋力トレーニング、関節可動域エクササイズなどを行うことで、日常生活動作の 向上を目指しています。また身体の機能を維持するために自主トレーニング指導にも力を入れて います。



## 理学療法士、介護福祉士による在宅生活を支えるために



利用者さんのニーズに合わせて利用時間を1時間・2時 間・3時間・4時間・6時間コースから選択できます。 特に1時間コースはリハビリテーション、理学療法に特 化したプログラムで行います。津生協病院内科・整形外 科医師との定期的なカンファレンスや他事業所専門職と の会議を通して、連携を密に取り利用者さんの在宅生活 を支えます。

# 病気と障がいを予防する



#### 特徴

班会での健康指導

健康講座での講師活動

健康向上の専門スタッフ在籍

## 班会で、地域で、健康指導を行っています

病気や障がい予防の学習会班会に講師を派遣しています。我々は班会活動を一次予防として位置づけ医科学的な知見に基づいた班会メニューを用意しています。



#### 【班会メニューの例】

自分の体力を知ろう。転倒しない身体づくり。腰痛を予防するために日常生活で気をつけること。お口の健康:楽しい食事を取り続けるために知っておきたいこと。

## 保健学校、インストラクター養成講座への講師派遣、企画開催を行っています

健康寿命の延伸に貢献するために理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が持っている知識、技術

を組合員さんに広める活動を行っています。また、医療機関が行うメディカルフィットネスセンターとして2023年オープン予定の新病院では検診後のフォローアップなども行う予定です。



### 健康向上の専門資格を持つセラピストがいます

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格を持つスタッフが病気や障がいの予防の援助に関わります。また、健康運動指導士の資格を有する理学療法士が元気な方はもとより、病気を持つ組合員さんや運動に不安がある組合員さんでも安全に行える運動指導を行います。